



第11回 桜地区防災フェスタ 開催

日頃より、桜地区自主防災協議会及び桜地区連合自治会の活動につきまして、ご理解と協力を賜り厚くお礼申し上げます。



「もし大きな地震が発生したら」「こんな時はどうすれば」

日頃より家庭内で防災・減災に対する意識の高揚を図っていただくため、小学生・中学生も参加する防災フェスタを企画させていただきました。皆様も是非参加をしていただきますようご案内させていただきます。

開催日時 令和元年11月30日(土)
午前8:30~12:00
雨天決行(暴風雨警報発令の場合は中止)

場 所 桜中学校(体育館、武道場、運動場、
周辺及び中庭)

駐 車 場 準備しておりませんので、
徒歩で参加をしてください。



耐震性が高い 耐震性が低い



実施内容

- ・起震車体験(一般者優先に体験)消防車、救急車、給水車、応急給水栓等の展示
- ・水消火器訓練、応急処置(AED)体験、防災資機材の展示
- ・HUG(避難所運営ゲーム) ・非常食 試食体験(α米、パッククッキング)
- ・防災、減災に関わる関連資機材の展示(家具固定、感震遮断機等々)
- ・地区内各団体による啓発事業:桜地区社会福祉協議会、のびっこ、桜地区安全安まちづくりの会



洗いかけ
代わり



洗面器代わり

自転車用ロープ



物干しロープ代わり



荷造りロープ代わり

覚えておこう
災害用伝言ダイヤル「171」



※災害伝言ダイヤル
も体験できます

主催 桜地区自主防災協議会

共催 桜地区連合自治会

裏面につづく

| | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 回 覧 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

熊本地震2018.4.14・16に発生した震度6以上、北海道胆振東部地震2018.9.6震度7、千葉県の大規模停電2019.9.9発生。 気候変動による台風での千葉県等の大規模停電(ブラックアウト)で甚大な被害を受けている。 特に高齢者や乳幼児等には停電は**死活問題**である。 今一度、考えてみましょう。

今月の「きらら」では、参考まで停電対策の一部を記載します。

1. 照明(ランタン・懐中電灯等)と電池(各種電池と蓄電池等)
2. 夏場は**熱中症対策**(団扇、アウトドア用の携帯扇風機等)
3. 冬場の**防寒対策**(カイロや湯たんぽ、石油ストーブ等)
4. 風呂の残り湯の活用(**水洗トイレ**等)
5. 冷蔵庫に**保冷剤を活用**する。(普段から水を凍らせて置くのも良い)
6. 携帯ラジオ(手回し用が便利、携帯電話の充電、照明や**情報収集**に活用)
7. ソーラー式のバッテリーは便利(照明、携帯電話の充電等)
8. 車の燃料は常に半分以下にしないで補給する(車のラジオは情報収集に活用)
9. **告知ラジオ**の活用
10. 災害時有線電話(**緑色の公衆電話**)の活用(**小銭**の準備)
11. 懐中電灯と水入りペットボトルを活用して照明対策(擬似ランタン)
12. 停電になり家を離れる際には「**通電火災防止**」のためブレーカーを切る。



※ 節電対策

- ・ 冷蔵庫 : ① 庫内の冷気が外に出るのを防ぐ(開閉の頻度を少なくする)
② 冷蔵庫に詰め過ぎないようにする
③ 温度管理は適切にし、冷やし過ぎないようにする
④ 蓄冷体の活用(保冷剤)
- ・ 照明器具 : ① 省エネタイプの電球(LED)に変える
② ソーラー灯の活用
③ 充電タイプのランタンに変える
④ 充電タイプの懐中電灯に変える
⑤ なるべく家族が一緒の部屋で過ごす
⑥ 蝋燭を使う際には十二分に注意が必要(火災予防)

